

碧南市

へきなん障害者ハーモニープラン

(第7期碧南市障害福祉計画・第3期碧南市障害児福祉計画)

策定についてのヒアリング調査

【結果報告書】

目 次

1	調査の概要	3
	(1) 調査目的	3
	(2) 調査期間	3
	(3) 調査方法	3
	(4) 調査の対象団体	4
2	団体・事業所の状況	6
	(1) 当事者団体の状況	6
	(2) 障害福祉サービス事業所の状況	11
3	団体・事業所からの意見	19
	(1) 今後の障害者施策について	19
	(2) 各分野における現状や課題、今後必要なサービス	21
	(3) その他の意見	38

令和5年7月

碧 南 市 福 祉 課

1 調査の概要

(1) 調査目的

障害福祉に関わる事業所、団体、学校等を対象に、障害のある人やその保護者等を取り巻く現状や課題、今後の方向性などをお聞きし、「へきなん障害者ハーモニープラン（第7期碧南市障害福祉計画・第3期碧南市障害児福祉計画）」策定の基礎資料とするためにヒアリング調査を実施しました。

(2) 調査期間

令和5年5月8日～5月22日

(3) 調査方法

碧南市内で活動する事業所、団体を対象に調査シートを配付し、回収しました。

(4) 調査の対象団体

調査対象の当事者団体、障害福祉サービス提供事業所は次のとおりです。(五十音順)

① 当事者団体

団体名		主な関係障害種類					
		身体	知的	精神	発達障害	高次脳機能	難病
1	愛知県立にしお特別支援学校	○	○				
2	碧南市盲人福祉会	○					○
3	医療法人純和会 矢作川病院			○			
4	ういっしゅ		○		○		
5	すまいる	○					
6	親子の会カラフル		○		○		
7	刈谷公共職業安定所 碧南出張所	○	○	○	○	○	○
8	医療法人成精会 刈谷病院			○			
9	手をつなぐ育成会	○	○	○			
10	NPO法人ハートフルあおみ			○			
11	のんちゃんの会		○				
12	パレット	○	○		○		
13	身体障害者福祉協会	○					
14	にじの学園				○		
15	みどり会（安城特別支援学校保護者会）		○		○		
16	くるくる	○	○	○	○	○	○

② 障害福祉サービス提供事業所

	事業所名	提供しているサービス
1	K Tチャレンジ	就労継続支援（B型）
2	N P O法人 一粒の種（木葉・木陰・木香）	日中一時支援、生活介護、放課後等デイサービス
3	W H J 相談支援センターメビア	計画相談支援（障害者）、障害児相談支援
4	あおみ J センター	地域活動支援センター
5	エンジェルス	居宅介護、計画相談支援（障害者）、移動支援
6	ゴットオフライフ碧南	児童発達支援、放課後等デイサービス
7	サンたなお	就労継続支援（B型）
8	サンフレア	就労継続支援（A型）
9	しーずん	就労継続支援（B型）
10	どリーむ	就労継続支援（A型）
11	ぶちま～る	児童発達支援
12	ふれあい工房アルゴ	就労移行支援、就労継続支援（B型）、就労定着支援
13	ふれあい支援センター	居宅介護、移動支援
14	ふれあい福祉園ガイア	生活介護、短期入所（ショートステイ）、日中一時支援
15	ヘルパーステーショントマト	居宅介護、重度訪問介護、移動支援
16	ヘルパーステーションひまわり	施設入所支援、移動支援
17	ヘルパーステーション未来へ	就労継続支援（B型）
18	ゆいりすホーム碧南雨池	自立生活援助
19	ゆり学園（空・海・学・星）	児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援、日中一時支援
20	りはくる	児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援、居宅訪問型児童発達支援
21	桜ヘルパーステーション碧南	就労継続支援（B型）
22	社会福祉法人愛生館（たいよう・さんさん）	児童発達支援、放課後等デイサービス
23	就労センターオアシス碧南	就労継続支援（B型）
24	生活サポートみらい	計画相談支援（障害者）、障害児相談支援
25	伏見之園・かなりやヘルパーステーション	就労継続支援（B型）
26	碧南ふれあい作業所	生活介護、日中一時支援
27	碧南ふれあい相談支援事業所	計画相談支援（障害者）、障害児相談支援、地域移行支援、地域定着支援
28	碧南ふれあい訪問介護事業所	就労定着支援
29	放課後等デイサービス 北風と太陽	放課後等デイサービス
30	訪問介護ファンタジスタ	居宅介護、重度訪問介護、移動支援

2 団体・事業所の状況

(1) 当事者団体の状況

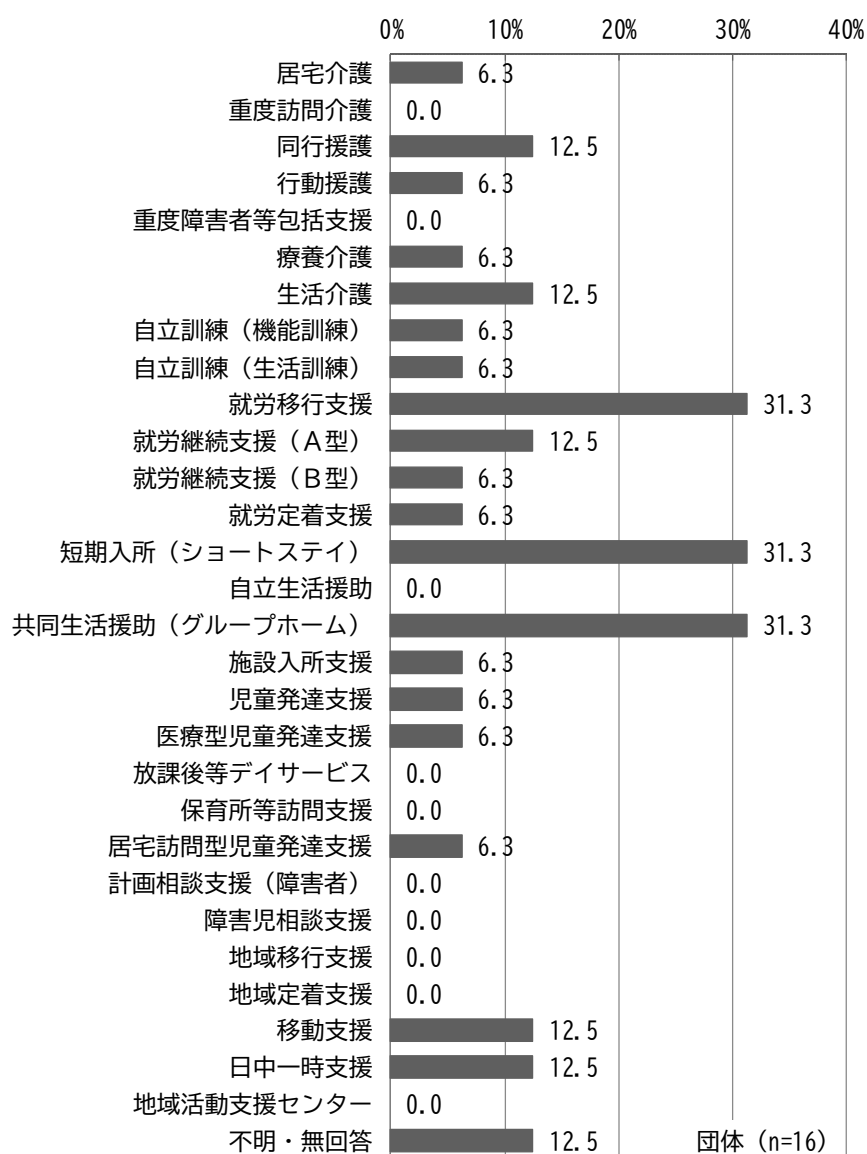
① 当事者団体の概要

	団体名	活動内容	構成員の 人数	活動者の 平均年齢
1	愛知県立にしお特別支援学校	本校は、知的障がいと肢体不自由両方の児童生徒が通う特別支援学校である。小学部1年生から高等部3年生の児童生徒が在籍し、それぞれの障害特性に応じた教育活動を行っている。	452 人	-
2	碧南市盲人福祉会	福祉実践教育、ボランティア	9 人	64 歳
3	医療法人純和会 矢作川病院	精神科病院	125 人	49.5 歳
4	ういっしゅ	社会人の障がい者と親で余暇を楽しむ。	本人9人 親8人	本人 26 歳 親 55 歳
5	すまいる	身体に障がいや不安のある子達の取り巻く環境について、本人達やその家族が暮らしやすい社会づくりを求めている活動。	16 家族	子ども 4～27 歳 親～56 歳
6	親子の会カラフル	親同士の交流、意見交換。勉強会の開催。親子での活動(文化・運動教室、お楽しみ会等)	40 人	不明。 所属する子の年齢は年中～19 歳
7	刈谷公共職業安定所 碧南出張所	厚生労働省の機関(ハローワーク) 求人受理、求職受理、お仕事の紹介(就職支援)など	19 人	40 歳
8	医療法人成精会 刈谷病院	精神科病院	-	-
9	手をつなぐ育成会	団体での各行事の企画(スポーツ大会、クリスマス会、ひなまつり等)	123 人	-
10	NPO法人ハートフルあおみ	精神障がい者本人や家族への支援。地域活動支援センター(あおなみJセンター)の運営。	27 人	62.5 歳
11	のんちゃんの会	ダウン症(児)の余暇活動の充実や親子(家族)同士の交流、情報共有の場として活動しています。	40 人	18.2 歳
12	パレット	就労に向けてカフェやマルシェを行う。	22 人 +子ども	47 歳

団体名		活動内容	構成員の 人数	活動者の 平均年齢
13	身体障害者福祉協会	身体障害者による福祉団体で、理事を選出し、年に数回理事会を開いています。 活動内容は旅行、料理教室、愛身連による大会（主にスポーツ）にも積極的に参加しています。	-	-
14	にじの学園	就学までの心身に発達遅れや障害を持つお子さんとその保護者がともに参加し、集団療育や親子遊びを通して、お子さんの成長を促進していく。	9人	42歳
15	みどり会（安城特別支援学校保護者会）	知的や発達に遅れのある障がいをもつお子さんの親の会で、自分達が知りたい情報について勉強会を計画し、情報収集をする。	36人	40～50歳
16	くるくる	障害福祉サービス、障害者就業・生活支援センター委託。	97人	46歳

② 市全体で不足しているサービスや支援とその原因（複数回答可）

碧南市全体で不足していると思われるサービスや支援は、「就労移行支援」「短期入所（ショートステイ）」「共同生活援助（グループホーム）」がそれぞれ 31.3%と最も高くなっています。



〔不足していると考えられる原因〕

不足していると考えられる原因	団体名
○就学前のお子さんを就園ではなく単独で預かり療育し、集団生活を経験できる施設がないため、保護者と分離して預けられる施設がない。	にじの学園
○同行援護の時間を増やしてほしい。	碧南市盲人福祉会
○グループホーム…原因はわかりませんが、もう少し選択肢があるといいかもかもしれません。	医療法人純和会 矢作川病院
○地域活動支援センター…原因はわかりませんが、居場所的な機能の施設が何か所かあるとよいかもしれません。	

不足していると考えられる原因	団体名
○就労移行支援…利用の期限があると、「期限満了後の不安」があるのではないか。収入（工賃）を追及しているところではないことも一因か？ ○共同生活援助（グループホーム）…必要に迫られるまでは、「家族（親など）と同居したい」という気持ちが当事者・家族ともに強いことも考えられる。「わざわざ親元を離れてまで…」という心情もあるのではないか。	NPO法人ハートフルあおみ
○人材不足。 ○需要と供給のバランス問題。高齢者に関しては人数が多いため声を通りやすいが、障がい者に関しては声が上がりにくいイメージがあります。	みどり会（安城特別支援学校保護者会）
○対応できる支援員、ヘルパーなどの人的資源の不足。	親子の会カラフル
○支援員さんの人員不足が考えられると思います。仕事に対して、もう少し高い賃金であればその人員が確保できるのではないかと考えます。	のんちゃんの会
○支援者が足りない。	ういつしゅ
○重度身体障害者が利用できる生活介護が不足している。人工呼吸器等の医療的ケアを実施できる事業所については、現在ない状態である。そのため、移動に困難を伴う方が市外に活動の場所を求めている。市が運営、もしくは市が社会福祉法人等に委託する等の対応が必要だと考える。	愛知県立にしお特別支援学校
○サービス提供の事業所が少ない。 ○医療的ケアのできる福祉サービス提供事業所がほとんどない。 ○必要とされているサービスを提供できる法人があまりない。 ○事業所が少ない→ヘルパーが少ない→ヘルパーの質が上がらない、という悪循環ができています。	すまいる
○他市サービスを利用しているケースが多いため。	くるくる
○手帳を持たない方（うつで休職中の方等）の居場所。既存の障害福祉サービスにのれない？人の居場所が図書館などしかない、というケースが一定数あります。 ○グループホームの不足の声は多いが、実際すぐに使いたい人がどれくらいいるか。将来的に使いたい、あると安心という人が多いように思う。強度行動障害の方を受け入れられるグループホームには、問い合わせが県下からくる。	医療法人成精会 刈谷病院

不足していると考えられる原因	団体名
○ハローワークに来所される障害者の中には、ご自身の障害内容を自分自身が理解していない場合があります。そうした場合は、就労移行新事業所へ通所しながら自己理解と働く場面での対応方法などを学びながら働くための準備をして、就職を目指します。碧南市内には、就労移行支援事業所が「ふれあい工房アルゴ」の1か所しかなく、実際に行っている作業内容がご自身の希望職種とかけ離れていると思われた方は、やむを得ず他市（安城市や刈谷市など）に通われています。 ○就労移行支援事業所が刈谷市5か所、安城市3か所、西尾市4か所、高浜市1か所となっており、若者の場合は運転免許証をお持ちでない方が多いので、できれば地元の碧南でもう1か所あるとよいと思います。	刈谷公共職業安定所 碧南出張所
○場所移動はどうしても個人の運転に頼るものであり、万が一、交通事故が起きた場合の対処の心配。	身体障害者福祉協会

(2) 障害福祉サービス事業所の状況

① サービスの提供状況（新規受け入れ等の余裕）について

サービスの提供状況（新規受け入れ等の余裕）について、「余裕はややある」とするサービスが 16 サービス 35 件と最も多くなっています。一方で、「余裕がない」とするサービスも 12 サービス（無回答除く）21 件みられます。

■十分余裕がある

提供サービス	件数
生活介護	2 件
就労移行支援	1 件
就労継続支援（A 型）	1 件
就労継続支援（B 型）	1 件
保育所等訪問支援	1 件
居宅訪問型児童発達支援	1 件
6 サービス	7 件

■余裕はややある

提供サービス	件数
居宅介護	5 件
重度訪問介護	5 件
同行援護	1 件
生活介護	1 件
就労継続支援（A 型）	1 件
就労継続支援（B 型）	4 件
短期入所（ショートステイ）	1 件
自立生活援助	1 件
児童発達支援	4 件
放課後等デイサービス	3 件
保育所等訪問支援	1 件
計画相談支援（障害者）	1 件
障害児相談支援	1 件
移動支援	2 件
日中一時支援	3 件
地域活動支援センター	1 件
16 サービス	35 件

■余裕がない

提供サービス	件数
居宅介護	3 件
同行援護	1 件
生活介護	1 件
就労定着支援	1 件
児童発達支援	1 件
放課後等デイサービス	3 件
計画相談支援（障害者）	2 件

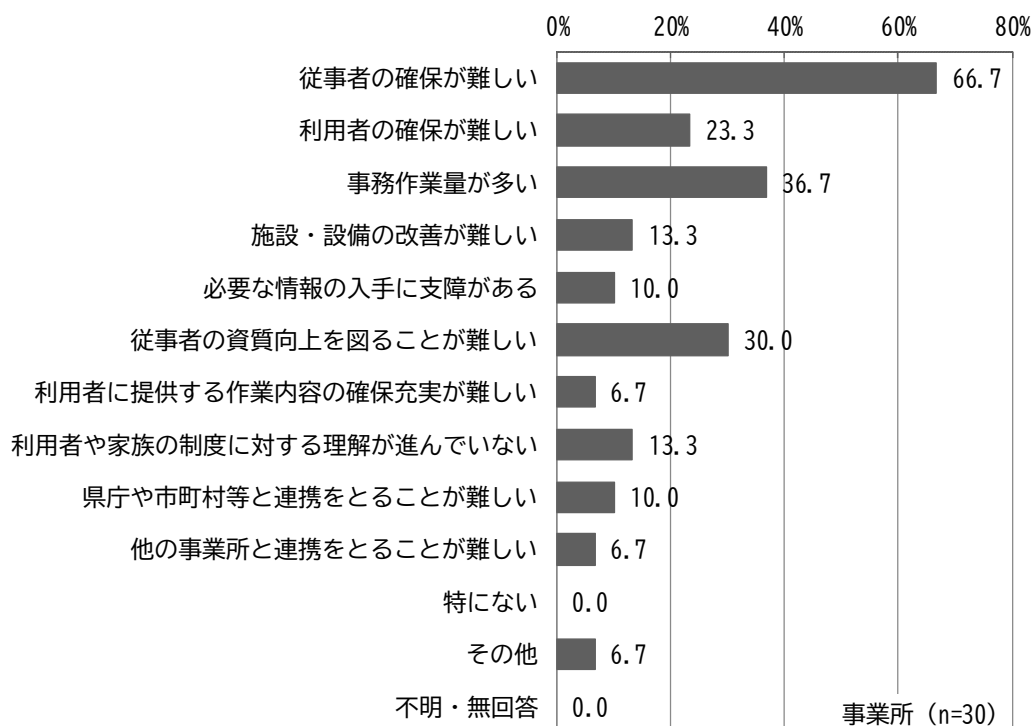
提供サービス	件数
障害児相談支援	2 件
地域移行支援	1 件
地域定着支援	1 件
移動支援	3 件
日中一時支援	1 件
（無回答）	1 件
12 サービス（無回答除く）	21 件

② 今後、新たに実施を予定しているサービス

サービス名	予定する定員数	サービス提供開始時期	サービス提供事業者名
就労継続支援（Ａ型）	－	－	サンフレア
就労継続支援（Ｂ型）	20 人	2025 年 6 月	どリーむ
共同生活援助（グループホーム）	5 人	2023 年 11 月	ヘルパーステーション未来へ
	4 人	2023 年 7 月下旬～ 8 月	ゆいりすホーム碧南雨池
放課後等デイサービス	10 人	2024 年 1 月	社会福祉法人愛生館（たいよう・さんさん）
	10 人	2023 年 8 月	サンたなお

③ 円滑な事業運営を進める上での問題（複数回答可）

円滑な事業運営を進めていく上で問題を感じることは、「従事者の確保が難しい」が66.7%と最も高く、次いで「事務作業量が多い」が36.7%、「従事者の資質向上を図ることが難しい」が30.0%となっています。現行計画から引き続き、人材の確保・育成が多くの事業所の課題となっています。



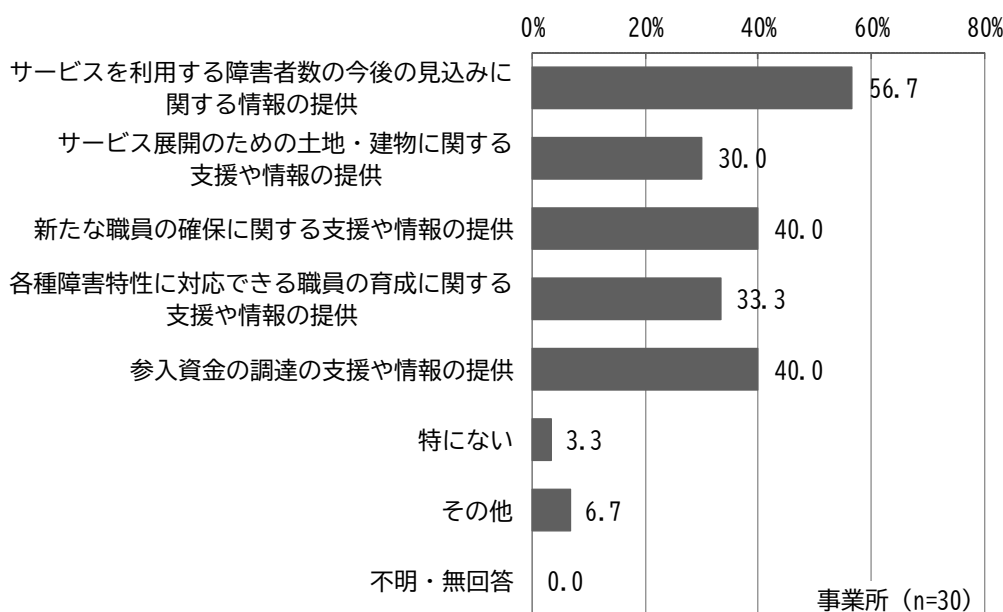
〔その他の回答〕

○計画相談支援の施設・設備改善について、国も市も考えられていないと感じ、とてもしんどい環境下で仕事をしています。《特定非営利活動法人あいちサポートセンター未来生活サポートみらい》

○利用者同士のトラブルが絶えず、そのギスギスしている環境に新しい利用者様に入居していただくわけにはいけないので、需要もあり、供給できる部屋があるにも関わらず、受け入れることができない状況があること。《一般社団法人愛知県伝統資財再生機構ゆいりすホーム碧南雨池》

④ 今後、碧南市における障害福祉サービス等事業所の新規参入や定員の拡充などを促進するために、行政として必要なこと（複数回答可）

今後、碧南市における障害福祉サービス等事業所の新規参入や定員の拡充などを促進するために、行政として必要なことは、「サービスを利用する障害者数の今後の見込みに関する情報の提供」が56.7%と最も高く、次いで「新たな職員の確保に関する支援や情報の提供」「参入資金の調達の支援や情報の提供」がそれぞれ40.0%、「各種障害特性に対応できる職員の育成に関する支援や情報の提供」が33.3%となっています。



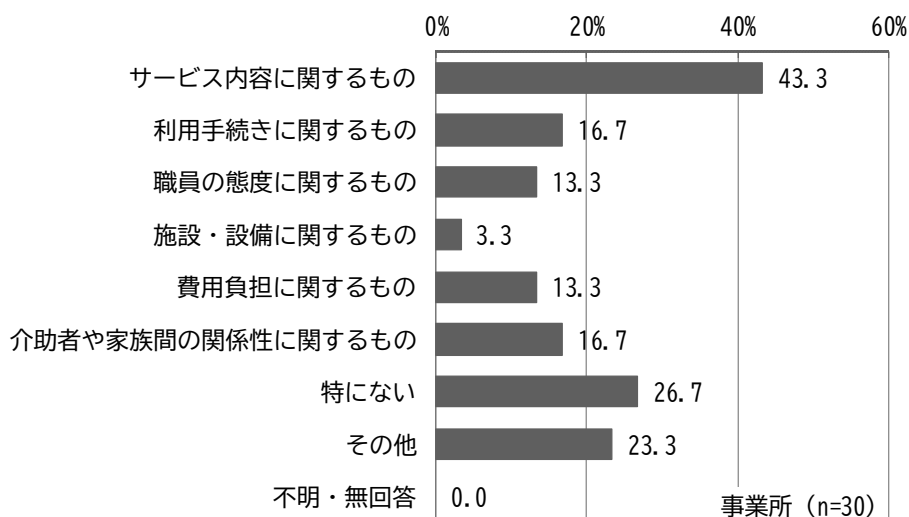
〔その他の回答〕

○いつもご理解とご協力に感動するばかりです。が、もし可能であれば値上げばかりの水道光熱費の補填を、碧南市の事業所を対象に行っていただけると助かると思います。《一般社団法人愛知県伝統資財再生機構ゆいりすホーム碧南雨池》

○にじの学園との併行通所。発達支援センター or 教育支援センターがほしい、つくりたい。《特定非営利活動法人 ARTIST JAPAN 児童放課後等デイサービス ゆり学園（空・海・学・星）》

⑤ 利用者やその家族からの苦情や相談で多い内容（複数回答可）

利用者やその家族からの苦情や相談で多い内容は、「サービス内容に関するもの」が43.3%と最も高く、次いで「特にない」が26.7%となっています。半数近くの苦情や相談が、サービス内容に関するものとなっています。



〔その他の回答〕

○家族間及びGH入居者の入居者間。《しーずん》

○同居人に対するもの。《一般社団法人愛知県伝統資財再生機構ゆいりすホーム碧南雨池》

○職員の力量不足による不満。《株式会社ファンタジスタ（ヘルパーステーション未来へ）》

○相談員との関係性。《合同会社トマトケア ヘルパーステーショントマト》

○サービス支給量に関すること。《社会福祉法人碧南市社会福祉協議会 碧南ふれあい相談支援事業所》

○相談支援事業所の整備。《特定非営利活動法人 あいちサポートセンター未来生活サポートみらい》

○（選択肢 3,4 について）計画作成先の事業所に関しての声。A型が多い。《特定非営利活動法人 あいちサポートセンター未来生活サポートみらい》

○受診に関わる相談。《サンたなお株式会社》

⑥ 市全体で不足しているサービスや支援について

不足しているサービス・支援	不足している理由（または背景など）	事業所名
グループホーム	○親亡き後の支援体制。 ○グループホームの不足。障がい高齢者の介護保険料（共生型を含む）等の悩み。	WHJ 相談支援センターメビア
	○グループホーム 原因：夜勤帯に勤務する人員が不足している。	サンたなお
	○グループホーム（共同生活援助） 家族からの要望をたくさん聞く。若い世代の親もとても関心がある。人材不足。	碧南ふれあい作業所
	○グループホーム（共同生活援助） 家族からの要望をたくさん聞く。若い世代の親もとても関心がある。人材不足。	ふれあい福祉園ガイア
	○グループホーム（重度）不足。入所施設がないこと。家庭の支援ができなくなりつつある利用者でも、介護保険適用とならない場合には行くあてがなく、介護費負担が避けられない。また、本人や家族が希望した場合には、生まれ育った家で暮らし続けたいが、生活に困らないようにするだけの支援者を入れることが事務所にとっても、支援のコアタイムと重なり、十分にはできない。	ふれあい支援センター
障害児や保護者への支援	○出生から就園前までの保護者への情報不足（頼れる場所が少ない）。市、保健センターを含め、民間の事業所を巻き込みながらの連携が必要。早目の療育（2歳前後からでも早くはない）を行うことで、就園後の福祉サービスの利用が減ることも今後考えらえる。 ○訓練（OT、ST等）だけでなく、生きていくため（生活していくため、就労を目指すため）の基盤となる経験を積む機会を担う場所、サービスが必要（就園後～大人まで、幅広く必要）。	ぷちま〜る
	○障がい者（児）を受け入れる施設・サービスが不足していると感じる。 ○市の予算の中で、障害者（児）支援への計上が少ない。	放課後等デイサービス 北風と太陽
	○発達医や精神医が市内に少ないため、児童発達支援センターがほしいなと思っています。他市にいたかなければならない保護者さん・子どもはなかなか大変そうです。自治体と一緒に運営できるならつくりたいです。保育園（にじの学園）も合体？	ゆり学園（空・海・学・星）
	○保護者から、支給量について問合せがあります。10日/月の方に関しては、保護者の熱意等に配慮していただき、15日/月（並行利用含む）をご検討くださると幸いです。 例）利用者によっては、他市町村の事業を利用されることにより、15日/月のかたもおられるようで、柔軟な対応をしていただけると嬉しいです。	ゴットオフライフ碧南

不足しているサービス・支援	不足している理由（または背景など）	事業所名
就労に関する支援	○障がい者の一般就労に向けた支援と就労した後の継続的な支援。 原因：一般就労に向けた支援をする事業所の不足。継続的な支援をするための支援体制の不足。企業側へのアプローチの未確立。	社会福祉法人愛生館（たいよう・さんさん）
	○就労（Ａ型）の壁があるとよく言われます。事業所サービスを理解できていなかったり、どのような方が働けるのか等。Ａ型のハードルが高いと思われる。どのようなサービスがあるか知らない方が多い。	サンフレア
	○就労移行支援…利用の期限があると、「期限満了後の不安」があるのではないかと。収入（工賃）を追及しているところではないことも一因か？	あおみ」センター
	○お子さんが成長をして就労を考える時期になった時、就労支援へとつながるようなサービスや支援が少ない（保護者よりどうしたらいいかわからない、と相談あり）。	りはくる
移動支援	○移動支援の場面でよく感じるのですが、移動手段の確保がなかなか難しい場面もあります。タクシー券を利用しても１回２枚までの利用制限と、年間の手取枚数にも限りがあり、すべての支援において利用することもできず、また、くるくるバスの活用も考えられますが、本数の少なさから、支援時間内に収まらない状況もあります。	ヘルパーステーション未来へ
	○福祉有償運送が制度的に提供できる事業者が不足。原因は、車の手配や運転者の確保の問題、運営協議会への参加などに制限があるのでしょうか？	生活サポートみらい
放課後等デイサービス	○放課後等デイサービス、児童の中でも障がい児の就労に関して、知識が不足している。人員不足も考えられる。 ○障がい児を受け入れてくれるような習い事や余暇活動の提供。	りはくる
居宅介護	○居宅介護の需要は年々増えているが、サービス事業者とヘルパーが少なく、需要に応えきれていない。 ○ヘルパーの朝夕と土日の勤務が多く、成り手がいないのが原因。	ふれあい工房アルゴ
各種サービス	○各施設の無料サービス（入浴、プール、タクシー券等）の充実。枚数が増えたとよいと思います。	訪問介護ファンタジスタ
	○ヘルパー支援が不足。身体介護や移動支援に対応できるヘルパーが少ない。原因は、新たな担い手がいない。どの事業所も職員を募集しても人が来ない。ヘルパーの高齢化。 ○医療的ケア児に対応する通所施設の不足（児童、放課後等デイサービス、生活介護）。 ○ヘルパーの不足（喀痰吸引）。看護師や知識・技術を持ったヘルパーが少ない。当事者の数が少なく、事業所の利益にならない。 ○強度行動障がいなど、障がい特性に関しての支援の専門性。原因は、学ぶ機会が少ない。業務に追れてしまい、スキルなど身に付ける余裕がない等。 ○自立訓練、自立生活援助を支援する事業所 ○不登校・ひきこもり支援 ○障がいがある子を持つ保護者の支援（就労を制限しないといけない） ○短期入所施設	碧南ふれあい相談支援事業所
	○短期入所（ショートステイ）、共同生活援助（グループホーム）について、職員の確保が難しいのではと考えます。	NPO法人 一粒の種（木葉・木陰・木香）

不足しているサービス・支援	不足している理由（または背景など）	事業所名
相談支援	○相談支援事業所の相談員の方々の担当利用者が多く、日々大変そうだと感じます。個人の相談支援事業所が開設されると、もう少し分担できるのではないかと思います。	K Tチャレンジ
	○不足しているサービスとは思いますが、上記に上げた相談員に相談しても違った意味にとられて相談にならないと苦情を受けている。支援側が相談（説明）しても、回答がよくわからない。	ヘルパーステーションマト
その他	○近隣市はともに行う家事、意欲の引き出しは家事援助ではなく、身体 30 分、家事 30 分（身体 1 時間の場合）になるが、碧南市は家事援助になってしまう。 ○自立支援の認識が薄い。	碧南ふれあい訪問介護事業所
	○このようなアンケートにはいつも同じ回答を差し上げておりますが、どうか碧南市をモデルとして他市町村（当方は西尾市しか存じ上げませんが）の不足部分を補って頂けたらと思います。	ゆいりすホーム碧南雨池
	○現状、特段の問題はないと思います。	しーずん

3 団体・事業所からの意見

(1) 今後の障害者施策について

① 障害者福祉施策を進める上で、特に重点的に取り組むべき課題

【事業所のみ】		
区分	重点的に取り組むべき課題	事業所名
切れ目のない支援	○児童発達支援から就労、生活介護など、一貫した障がい者支援が望ましいと思う。それには大規模な福祉施設が必要となるため、難しいとは感じるが、一人ひとりのことを理解して支援するには必要だと思う。	ゴットオフライフ 碧南
	○もっと小中高の生徒（親）に卒業後のイメージを持ってもらい、早い段階で意識してもらうとベスト！支援学校卒業後のミスマッチングが起きないためにも学校へ行き、事業所説明会等を行いたい。	サンフレア
	○各年代で切れ目がないように支援していくこと。例：幼児～小学生までは支援できる事業所が多いが、中学生～高校生、就労に向けては少なくなる。	社会福祉法人愛生館（たいよう・さんさん）
支援者の確保	○緊急時の受け入れ先の確保（支援者の確保）。情報の共有。	K Tチャレンジ
支援者への支援	○障がい者が家庭内で家族介護をしているケースがみられます。ご自身のことが後回しで、生活が少々困っています。	訪問介護ファンタジスタ
事業所の確保	○共同生活援助の受け入れ先を増やすことですか。物件確保から初期投資の部分において、事業所の負担が大きく、なかなか受け入れ先が増えない原因にもつながっていると思います。	ヘルパーステーション未来へ
	○肢体不自由者専門の施設がない。 ○高齢者はショートなど長く利用できるが、障がいの場合、1泊2日しかできないケースが多い。	碧南ふれあい訪問介護事業所
就労支援体制整備	○障害者の施設外就労先の相手企業の紹介や受け入れ態勢を、行政がマッチングできる仕組みをつくってほしい。	どリーむ
障害児支援	○市内の支援を必要とする児が増えていく中で、保育所や学校での授業の進め方や支援をどのように行っていくか。	りはくる
	○精神の子が増えてきて、不登校や行き渋りっ子の低年齢化。当事業所（デイ）もパンパンで、受け入れ不可になっています。 ○また、児童クラブに保訪に行くと、診断名のついていないグレーの子の支援に支援者・チビ共に困った様子が多くありました。	ゆり学園（空・海・学・星）
障害の早期発見・早期支援	○サービスを受けていない潜在的な障害者の方がまだいると感じる。それらの方々をサービスに繋げていくことがまだまだ課題だと感じる。（例として、介護保険サービスであるならば、予防として区民館、公民館等の宅老所を通して包括支援センターに繋げていける制度がある。）	サンたなお
障害理解	○課題ではないですが、高齢者介護と比べ、社会に周知・浸透が浅いと感じます（ノーマライゼーション的な面も含め）。	しーずん

区分	重点的に取り組むべき課題	事業所名
情報共有	○制度で賄うには限界があるため、インフォーマルなサービス資源の情報を共有すること。	ふれあい支援センター
相談体制の整備	○計画相談支援は、障がい福祉サービスの利用があつて初めて相談支援事業者の収入になりますが、利用しない方の相談や電話対応がとても大変です。夜間、休日も年中電話対応できる体制ですが、その体制自体が負担です。	生活サポートみらい
地域や企業との連携	○地域共生。今後は福祉サービスだけではなく、地域・企業に協力いただきながら地域の課題と捉え、地域で生まれ、育つ、働く、生きることが考えられる機会を、子育て世代と企業に学んでもらうことができるとよいと思います。そうすることで、本当に障害福祉が必要な人に必要なサービスが手厚く届くようになると思います。	ぷちま〜る
当事者の主体的参加の仕組みづくり	○本人や家族にもっと意見を言ってもらったり、「障害福祉施策を行政や関係者と一緒に展開していこう」というように、主体的に関わっていただくための働きかけや支援、または仕組みの工夫が必要。	あおみ」センター
発達障害支援	○発達障がいの概念が広まったことにより、発達障がいが増加している。二次障がいやうつや統合失調症になる方も多い。 ○社会と本人の障がい受容により二次障がいが減り、当事者が生きやすくなるため、発達障がい者向けのサービスや事業が碧南市は少ないと感じる。	ふれあい工房アルゴ
福祉教育	○地域共生社会に基づく事業。特に参加支援の部分で障がいのある方が参加してもらう人のこと、企画・運営にも携われるような取り組みや、福祉体験ではない考える福祉教育（一応福祉施策として書かせていただきます）等が取り組めるとよい。	WHJ 相談支援センターメビア

(2) 各分野における現状や課題、今後必要なサービス

① 保健・医療について

【団体】

区分	意見	団体名
通院・診療について	○精神科クリニック、心療内科が少ない。	医療法人純和会 矢作川病院
	○専門的な病院が市内になく、遠くまで通っていて大変。	ういつしゅ
	○年金などの申請の際、市内に心療内科がないので市外を利用している人が多いです。 ○また、心療内科の予約は数か月後になってしまうので、前もって連絡などしてもらえるとありがたいです。	のんちゃんの会
	○保護者の不安に寄り添い、障害の診断に関わりなく通える支援を受けられる施設環境が充実していくとよい(整備、場の広さ、通いやすさ、駐車場など)	にじの学園
早期発見・早期療育について	○精神疾患の場合、まだまだ家庭内だけでギリギリにならないと支援を求めようとしにくい印象。早期発見、治療、受給のしやすさ、ハードルを下げるためにどうすればいいか。地道な啓発が必要。	医療法人成精会 刈谷病院
	○早期発見や相談の部分では、“ほっとまんま”のシステムは他市にない取り組みで、とてもいいと思っています。	みどり会(安城特別支援学校保護者会)
定期的な健診について	○障害のある方の健康管理や健診の受診をもっと推進する。 ○手術後の治療や入院時の保証人の問題への対応。	NPO法人ハートフルあおみ
医療機関との連携について	○医療機関としっかり連携が取れる福祉事業所が必要。	すまいる

区分	意見	事業所名
医療機関との連携について	○医療との連携が必要なケースでも、特に医者が情報提供を渋り情報をくれない、もしくはこちらの情報を軽視する傾向がある。	ふれあい工房アルゴ
	○医療との連携について。法人、個々の連携体制の構築だけではなく、碧南市全体での連携体制の整備。	ふれあい支援センター
	○親子教室から児発を利用する子は、発達支援と共有できていて◎。医療機関も他市ですが、医師との連携は取っている方だと思いますが、市内にないのが悲しいところです。	ゆり学園(空・海・学・星)
情報提供・情報共有について	○情報過多と情報が得られていない人の差が広がってきている。家庭状況(貧困も含め)により差が激しく、本当に必要な人に情報が届かない、または利用できないこともある。自らが動かないと情報が得られないこともあり、つながることをあきらめてしまう。どんな人でも情報が得られる(ハードルの低さ)方法を検討していただきたい。 例)母子手帳交付後の教室等で、ジェンダーや発達に関する学びや情報提供	ぷちま～る
	○地域包括支援センターからの情報。	KTチャレンジ
	○療育支援に関して定期的な勉強会の開催などがあり、大変参考になっている支援に関して、情報共有できる機会がたくさん増えていけるとよい。	りはくる
早期発見・早期療育について	○乳児・幼児期でDの早期介入と関係機関の連携。 ○訪看さんとの連携が以前より取りやすくなった。ホームへ入ってくださるので、安心されることが多い。	WHJ相談支援センターメビア
	○乳幼児健診での早期発見に向け、専門分野の方の診察があってもよいと思う。	放課後等デイサービス北風と太陽
通院・診療について	○異常の早期発見は成されているが、専門的なサポートを受けるために、離れた医療機関に行くことが多い。例:言語発達診察を受けるために市外の離れた医療機関に受診する。	社会福祉法人愛生館(たいよう・さんさん)
定期的な健診について	○現状:利用者様への定期的な受診を勧めていく。	サンたなお
その他	○在宅での介護を希望している利用者のケアの充実。	訪問介護ファンタジスタ
	○親友職員(障がい特例 67 歳)が、後期高齢者医療被保険証の取得に碧南市に転居してから2か月以上かかったそうで、速やかに発行いただくような対応が望ましいと思われます。	ゴットオフライフ碧南

② 生活環境の整備について

【団体】

区分	意見	団体名
移動支援・公共交通機関について	○あいくるでの活動に参加したいが、送迎してもらえないので残念でならない。	身体障害者福祉協会
	○くるくるバスの本数を増やしてほしい。	碧南市盲人福祉会
	○公共交通機関の利便性が低い(当院への通院やデイケア通所が困難なケースがみられる)。	医療法人純和会 矢作川病院
	○障がい者の移動手段としては自転車、徒歩、電車などが挙げられるが、碧南市はくるくるバスの利用が無料でありがたいです。もう少し、運行回数を増やしていただくと、より利用しやすくなります。	のんちゃんの会
	○通勤・通学の時間帯の路線バス利用における障がい者への支援拡充。 ○学校と連携した防犯・防災に関する訓練の情報共有。	愛知県立にしお特別支援学校
	○ハローワークに来所される障害者の中には、運転免許証をお持ちでない方がいます。そうした方は、ハローワークには自宅から自転車で来られますが、通勤を援助する方法が充実していると、もっと広い範囲で通勤可能になるので就職する人が増えると思います。例)碧南市住民で碧南市内企業に就職が決まった場合には、電動自転車レンタルサービスが利用できるようにする(碧南市と業者が年間契約をして、希望者は碧南市に申し込みをして利用できる方法)など。	刈谷公共職業安定所 碧南出張所
施設整備について	○公共施設でのユニバーサルデザインのトイレ設置の充実。 ○ユニバーサルトイレでのオムツ交換のための大人用ベッドの設置。 ○障がいのある人が利用しやすい福祉プール、入浴施設。	すまいる
情報のバリアフリーについて	○福祉施策制度の情報のバリアフリーの推進(本人、家族に対して)。	NPO法人ハートフルあおみ

【事業所】

区分	意見	事業所名
移動支援・公共交通機関について	○公共交通機関の使用しづらさ。車いすOKであるバスではあるが、横柄な態度をされたり、知的の方が話をしていると怒られることもある。	WHJ相談支援センターメビア
	○公共交通機関を整備し、使いやすく便をよくしていただきたい。	放課後等デイサービス北風と太陽
	○公共交通機関を利用するのに不便な地域にお住いの利用者様の移動手段に困ることが多く、また、障害特性により、公共交通機関での移動が困難な場合に対処する方法が検討課題としてあります。	ヘルパーステーション未来へ
	○自宅から各施設への移動が難しい利用者がいます。各無料サービス(バス、タクシー券)を使っても、枚数に制限があります。	訪問介護ファンタジスタ
	○障がいの個別性に対応するため、外出時のサポート体制の充実により外出しやすい環境づくりが必要。	碧南ふれあい相談支援事業所
	○身体障がい、重度な知的障がい者の方々の公共交通機関の使用しづらさ。例えば、福祉制度を利用して外出などする際にバスや電車の本数が少なく、目的(やりたいこと)が達成できなかったり、急いで移動しなければならないことがある。	ふれあい支援センター
施設整備について	○資金のある方や社協さんなどが、施設については整備されているので羨ましいです。	生活サポートみらい
	○今後、児童を受け入れる施設も開所予定であるため、送迎等、ブザー設置し安全に配慮した。環境を整えたい。	サンたなお
バリアフリーについて	○バリアフリーについては、施設の整備も必要だが、心のバリアフリーについて子どもから大人まで学ぶ機会をつくっていただきたい。	ぷちま～る
防災・防犯対策について	○施設の防犯体制は整備しているが、周辺状況を考えると完全に不審者の侵入を防ぐことが難しい。 ○人の目が多い地域でもないのに、地域としての防犯が行き届いているかが心配。	社会福祉法人愛生館(たいよう・さんさん)
	○金銭面的に防犯や防災対策が難しい方が多い。	サンフレア
	○防災については各地域で活動しており、ファーストミッションBOXを活用しての取り組みが活性化されるとよいと思う。一方、障害をお持ちの方がいる家庭は、独自で対策をとっている家庭もあるため、その情報共有や把握も必要。	ぷちま～る

③ 相談・情報提供について

【団体】

区分	意見	団体名
情報共有について	○当事者団体や家族会について、県内の情報の把握と提供。 ・成人の発達障がいの集まりはどこで開催されているか？ ・うつ病当事者の会はどこにあるか？ 等	NPO法人ハートフルあおみ
相談支援について	○学校卒業後、いろいろな情報がなかなか入ってこない。将来に向けて成年後見やグループホーム等の情報を知りたい。 ○福祉サービスを利用していないと、相談員がついていない。困った時に相談先がわからず、問題が大きくなったり、二次障がいにつながらないか心配。	ういつしゅ
	○児童発達支援センター	パレット
	○児童発達支援センターの設置をする。 ○障がいや福祉に関する情報を多くの人達が受け取れるよう、ネット配信などを行っていく。	親子の会カラフル
連携について	○市教育委員会、関係機関と連携を図りながら教育相談、発達に関する支援、情報共有、スクールカウンセラー等の活用などを行っている。今後も継続して連携を深めていきたい。	愛知県立にしお特別支援学校
	○障がい者の親の会については、碧南はネットワークがしっかりしているように感じます。”ほっとまんま”の企画から、障がいの早期発見にもつながるし、情報の共有も親の会や社協さんがしっかりつながっているため、スムーズだと思います。相談できる場の提供も、しっかり整っていると思います。	みどり会(安城特別支援学校保護者会)

【事業所】

区分	意見	事業所名
情報共有について	○ICFがやっているの◎。民生委員さんや子ども課三とも情報共有しています。	ゆり学園(空・海・学・星)
	○児童民生委員の方が熱心に情報収集いただけるので、助かっています。	社会福祉法人愛生館(たいよう・さんさん)
相談支援について	○事業所内の方に対しての情報提供は可能だが、その他の相談や様々な提供が困難と感じる。	サンフレア
	○障がい児の相談に関して、どこに相談をすればいいのかわからない時がある。保護者より、サービスを利用するためには、等。	りはくる
地域交流について	○現状:新規建物にてサービス時間外にて喫茶店営業を始めようと考えている。地域の方々のニーズや課題について食事をとりながら、話合える場を提供したい。	サンたなお
連携について	○情報提供については、繰り返しの発信を続けることでやっと届くかな?と思った方がいいくらい届いていないことも多い。	ぷちま〜る
	○相談についても、窓口を知らない、知っていてもハードルが高い、どこに何を相談したらよいのかわからない、相談してもたらい回しにされたと感じる方も多い。縦割りではなく、横のつながりが増えてほしい。	
	○地域ネットワークを活用した、障がいのある人達に必要な地域のネットワークのあり方の検討があまりされていないと感じます。	生活サポートみらい
	○福祉課、社協とは連絡が取りやすく、良い連携体制が構築できていると思う。	ふれあい支援センター
その他	○福祉課、社協とは連絡が取りやすく、連携体制が構築できている。	WHJ相談支援センターメビア
	○現状、特段の問題はないと思います。	しーずん
	○現状において必要性がある時は、連絡体制も整っていると思われます。特に不便に感じていたことはありません。	ヘルパーステーション未来へ

④ すまい・住宅の確保について

【団体】

区分	意見	団体名
グループホームの拡充	○グループホーム(高齢者以外が入れる)の充実。	パレット
	○グループホームが少しずつでも整備が進むとよい。 ○賃貸時、保証人の問題への対応。	NPO法人ハートフル あおみ
	○グループホームなど、施設の数が増える方がある人数を考えると少ないように感じます(他市での利用の方が多い傾向にあるように感じます)。	みどり会(安城特別支援学校保護者会)
	○グループホームを希望する人が多いが、数が足りていないと思う。 ○グループホーム以外での暮らし方、どんなサービスがあるのか、親亡き後、安心して暮らせるようになってほしい。	ういつしゅ
	○軽度の知的障がい者や発達・精神障がい者向けのグループホームは増えたが、重度身体障がい者の方が利用できるグループホームは不足している。	愛知県立にしお特別支援学校
	○身体障がいのある人も利用できるグループホーム。 ○自宅のバリアフリー化のための補助の増大。	すまいる
	○ハローワークに来所される方の中には、障害ですぐに働くことが難しい場合があります。住居が民間賃貸で、家賃の支払いが高価なため支払いが困難になるケースもあります。そうした場合に、障害者の方が入居できる公共賃貸住宅やグループホームは、碧南市にあるのでしょうか？	刈谷公共職業安定所 碧南出張所
公営住宅について	○公営住宅の保証人。	医療法人成精会 刈谷病院

【事業所】

区分	意見	事業所名
グループホームの拡充	○共同生活援助における物件の確保が難しいです。	ヘルパーステーション未来へ
	○グループホームが不足している。	WHJ相談支援センターメビア
	○グループホームを建てるにあたり、土地の問題もあると思います。	碧南ふれあい作業所
	○グループホームを建てるにあたり、土地の問題もあると思います。	ふれあい福祉園ガイア
	○公営住宅に障がい者が入居しやすい仕組みがあるとよい。 ○グループホームに重度の障がいにも対応できる体制が必要。また、グループホームの体験利用ができる体制や、一定の空き部屋の確保ができるとよい。	碧南ふれあい相談支援事業所
	○支援者の数が確保できれば、グループホームなど空家を活用し、地域住民の理解も得ながら進めていけるとよい。	ふれあい支援センター
	○障がい者グループホームの充実が必要だと思います。 ○重症に特化した方、働ける状態の方など、ニーズは高いと思います。	社会福祉法人愛生館(たいよう・さんさん)
	○碧南市は現状グループホームが足りていないと感じる。	サンたなお
	○株式会社のグループホームが増えたが、職員の質とリスク管理の課題がある。実際に大怪我につながった事故もあった。	ふれあい工房アルゴ
グループホームの入所支援	○市内のグループホームの空き状況がわからない。市の抽選がなかなか当たらず、生活困難になる方もいる。	サンフレア
公共住宅の確保	○ひとり親家庭や自立に向けた若者が、住みやすい公共住宅が増えるとありがたいです。障害のある方の自立へとつながると思います。	ぷちま〜る
情報共有について	○障がいをもった方の住宅の斡旋、情報公開を進めていただきたい。	放課後等デイサービス北風と太陽
その他	○現状、特段の問題はないと思います。	しーずん
	○公共賃貸住宅については、ペットとの同居は難しい。実家(西尾)のバリアフリーは天井走行リフトもありますが、かなり介護の負担軽減になりました。モデルルームの利用で価値観を理解できるとよいと思う。施設利用(家族が入浴介助)等があってもよいと思う。	生活サポートみらい

⑤ 雇用・就労について

【団体】

区分	意見	団体名
就労支援について	○就労移行支援、定着支援が充実するとよいと思います。	医療法人純和会 矢作川病院
情報発信について	○障がい者雇用をしてくださる企業や事業所に仕事をいただいている企業など、まだまだ知らないことがたくさんあるので、碧南市の現状がわかる一覧、情報収集できるものや企画がつけるといいなあ、と思いました。	みどり会(安城特別支援学校保護者会)
	○碧南市内には、就労継続支援A型「どリーむ」があります。そこでつくっているお弁当は、とても綺麗で美味しいです。障害者の方が仕事がやりやすいように工夫されているので、質の高い商品をつくっていると思います。 ○就労継続支援事業所でつくられている商品などを碧南市民の方にも知っていただける機会があると、地域における障害者雇用がもっと促進されると思います。	刈谷公共職業安定所 碧南出張所
働き方の多様化について	○市内の事業所も少しずつ増えてはきて、障がい児(者)も働くところを選べるようになってきたが、支援学校での実習で決まることが多い。2回目の実習で、将来、長い間働くであろう仕事を決めてしまうのに、もう少し時間をかけて決めるやり方(移行支援だけでなく)があるといいなあと思います。	のんちゃんの会
	○就労時に利用できるヘルパー。身体障がい者にとって働いていてもサポートは必要。サポートがあれば仕事の選択肢が増える。	すまいる
	○短時間から働ける場がもっと増えると、「働く」につながる人が増えるのではないか。	NPO法人ハートフル あおみ
働く場所や企業への働きかけについて	○市内で一般就労できる場(くるくるバス等を利用して、自力で通勤できる所)。 ○福祉センターあいくるや市役所等に障がい者の働くカフェやレストラン。	パレット
	○障がいがあっても支援があれば働けることを、企業の方にも知ってほしい。 ○長く働き続けられるよう、企業と就労定着支援と連携をとって、問題が起きた時、早目に対応できるようにしてほしい。	ういつしゅ
	○障がい者雇用につなげるために、体験実習(インターンシップ)等を受け入れてくれる企業等の一覧などの情報共有。	愛知県立にしお特別支援学校
その他	○相談支援事業所(社協)の人がよくやってくれています。	医療法人成精会 刈谷病院

【事業所】

区分	意見	事業所名
一般就労について	○障がい者枠ではなく、一般就労に向けた就労の場所について、情報を気軽に得られる方法、働ける場所の確保、企業側への支援等課題は多いと思います。	社会福祉法人愛生館 (たいよう・さんさん)
福祉的就労について	○時給分の利益が上がる作業提供が難しい。賃金は毎年上がるが、単価は上がらない。福祉の事業所だとなかなか作業がもらえない。	サンフレア
	○障がいの特性に合わせた幅広い雇用・就労の施設が増えていくと、障がいを持った方の将来的な展望がみられるようになると思う。	放課後等デイサービス 北風と太陽
	○精神疾患のある方の就労支援については、A型継続支援事業では体調面で難しい。しかし、B型の賃金が低いところは希望されないの、B型の工賃を上げるための市からの仕事を提供してほしい。	生活サポートみらい
	○福祉就労の周知。	KTチャレンジ
	○幼少期の時からの経験の機会が必要(家庭労働の機会を家だけではなく、頼れる大人をつくりながら経験できるとよい)。地域のお店、企業にて1時間でもいいので、最低賃金をもらえるような機会の提供を促していただきたい。	ぷちま～る
	○地域の企業への障害者雇用への理解が遠いと感じることがある。施設外就労を通じて利用者様が活躍できる場がもっと増えるといいと感じた。	サンたなお
情報提供について	○一般就労できる障がい者が、就労継続A型とB型に流れていってしまった。PR不足を痛感している。	ふれあい工房アルゴ
連携について	○支援の専門性の向上。 ○就労系サービス事業所、企業、ハローワーク等、各機関や企業との連携のしやすさ。 ○企業側へ就労支援のPRの機会。	碧南ふれあい相談支援事業所
	○放課後等デイサービスとして就労支援の際、どこで連携をとるのか、どのように(相談員?)促進をしていくのか難しい時がある。	りはくる
その他	○受注面で答えると、民間は不安定、公的は安定性があります。	しーずん
	○中学卒業の利用児にスギ製薬さんを紹介し、2023 年4月より就労を始めた。同時に児発を利用している(18 歳まで)。	ゆり学園(空・海・学・星)

⑥ 災害時の支援について

【団体】

区分	意見	団体名
個別避難計画について	○避難方法に関しては、医療的ケアが必要な方の個別避難計画の作成をされるといいなと感じました。部会で、地域の方に知ってもらうために避難訓練への参加をすることを言われていましたが、地域の方に知ってもらうのであれば違う方法で、地域の方々とつながれるイベントなどを考えるのもいいのでは？と思いました。	みどり会(安城特別支援学校保護者会)
避難所について	○排せつ(オムツ交換)のためのエリア確保。 ○身体を伸ばせるエリア。	すまいる
	○福祉避難所がどこにあって、どういう人が避難できるのか、よくわからない。 ○避難所での避難が難しい場合、自宅での避難になると思うが、できるかどうか不安。 ○障がいのある人が何の支援が受けられるのか、情報を知りたい。	ういつしゅ
避難行動要支援者名簿について	○「避難行動要支援者名簿」への登録率を向上できるよう、もっと働きかけが必要ではないか。	NPO法人ハートフルあおみ
情報共有について	○災害時の安否確認の方法に関する情報共有。	愛知県立にしお特別支援学校

【事業所】

区分	意見	事業所名
個別避難計画について	○個別避難計画の作成を誰(どのような障がい)を優先して作成していくのか。 ○発災時のイメージができるよう、当事者及び家族へ継続的な周知・PRが必要。医療的ケア児者への災害時支援(自宅避難時の必要な物品の補助、避難所の確保)。 ○障がい児者が避難生活ができる体制に、避難所も対応できる人もいない。	碧南ふれあい相談支援事業所
災害時の支援の在り方について	○BCPの作成マニュアルを市でも共有していただきたい。	碧南ふれあい作業所
	○BCPの作成マニュアルを市でも共有していただきたい。	ふれあい福祉園ガイア
	○介護者が災害で被災した場合、利用者のケアに行けない。	訪問介護ファンタジスタ
	○現在、公的機関の指針等に基づいた対応ですが、発災後に関しては社会性を考え、対応したいです。	しーずん
	○発災後のサービス利用について、まだまだイメージが固められていないことが課題。	サンたなお
避難訓練について	○事業所で避難訓練を行っているが、実際、災害が起きた時にパニックになったり、動けなくなったり等、予測ができない反応になることも考えられる。繰り返し訓練をし、経験を積んでいこうと思う。避難所では、障がいを持っている方への理解、支援をしていただけるとありがたい。	放課後等デイサービス北風と太陽
	○地域の方が、障がいのある方も参加できるような避難訓練を実施してほしい。	生活サポートみらい
避難所について	○施設として子ども避難できる状態に整えることが難しい。 ○また避難所として維持していくことが大変です。	社会福祉法人愛生館(たいよう・さんさん)
避難に関する情報について	○訪問系の事業所ですので各自の環境も様々ですが、支援時に災害が発生した場合を想定して、避難方法について共通認識を持っておく必要があります。	ヘルパーステーション未来へ
	○災害時に障がい者の方はどの程度避難方法や災害時のサービス等ご理解しているのか？ ○どの程度浸透しているのか？	就労センターオアシス碧南
こころのバリアフリーについて	○バリアフリーについては、施設の整備も必要だが、心のバリアフリーについて子どもから人まで学ぶ機会をつくっていただきたい。	ぷちま～る
情報共有について	○防災については各地域で活動しており、ファーストミッションBOXを活用しての取り組みが活性化されるとよいと思う。一方、障害をお持ちの方がいる家庭は、独自で対策をとっている家庭もあるため、その情報共有や把握も必要。	ぷちま～る

⑦ 障害への理解と交流について

【団体】

区分	意見	団体名
周知啓発について	○小中学校の生徒及び保護者への障がい理解につながる啓発活動を行う(キャラバンタイなどの公演)。	親子の会カラフル
	○精神障がいの理解促進、啓発活動。①にもつながるため。	医療法人成精会 刈谷病院
障害への理解について	○「ひきこもり」の方に対する理解促進が大切。発達障がいや精神障がいへの理解促進にもつながると思われる。	NPO法人ハートフルあおみ
情報共有について	○行政が行っていることと、育成会などの各団体で行っていることの共通理解が必要。会員が特に行政が何を行っているのか分かっておらず理解されていない。そのために、ハーモニープランなどの説明を各団体の会員に対し行政から行うように依頼したい。 ○また、他市は、各団体が集まって情報を共有する機会がある。そのようなこともあったらいい。	手をつなぐ育成会
地域との交流の場について	○以前、ハロウィンウォークでお菓子配り、スタンプ押しのボランティアに地域の人と関わることができ、とてもよかった。本人達にとっても自信につながったように思う。	ういっしゅ
	○障害者、健常者が共に楽しみ合える機会があれば、健常者が自然に身障者に手を差し伸べられる機会ともなり、障害者の状態を知ってもらいやすい。	身体障害者福祉協会
	○他市町村では福祉センター等に障がい者が働くレストラン等があり、働く姿を見て理解を深めることができる場があるが、碧南にははないので必要。	パレット
	○地域のイベントに参加するのは、すごくハードルが高いような気がします。自分達が企画したイベントに、地域の方を呼ぶようなかたちがつくれるといいなと思いました。 ○個人的にキャラバン隊活動をしています、子ども達に疑似体験を通して”あたたかい目(芽)”を増加していくことも頑張りたいと思います。	みどり会(安城特別支援学校保護者会)
	○特別支援学校在籍の児童生徒の居住地校交流の充実。	愛知県立にしお特別支援学校
	○ふれあいフェスもなくなり、市民的な福祉まつりがないので、そのような交流できるイベント、勉強会が必要。	すまいる
その他	○良くしていただいています。	碧南市盲人福祉会

【事業所】

区分	意見	事業所名
周知啓発について	○障がいを持っていて生きづらさを感じている方について理解していただけるよう、学校単位、市のイベントなどで情報発信する機会があるとよいと思う。	放課後等デイサービス 北風と太陽
	○情報があふれる中、誤った認識をしている方も少なくない。地域の事業所や園・学校で直接交流するなど、地域の方々に知っていただく機会や、情報提供をしていただきたい。ボランティアをしたいと思っても、どうつながればいいのか？わからない方もいらっしゃいます。	ぷちま～る
障害への理解について	○家族間であっても理解が薄く、苦しい思いをされている方が多い。	KTチャレンジ
	○公共の場で過ごす場面で、時に冷たい視線を感じることはあります。	ヘルパーステーション 未来へ
	○障害を持つ人に対しての理解が薄い。あまりいいイメージを持たれていない。	サンフレア
当事者の情報発信について	○障がい児、障がい者が自分から進んで発信できる機会が必要であると思います。	社会福祉法人愛生館 (たいよう・さんさん)
地域との交流の場について	○施設と地域を繋げていきたいので、交流の場を持てきたい。	碧南ふれあい作業所
	○施設と地域を繋げていきたいので、交流の場を持てきたい。	ふれあい福祉園ガイア
	○市民全員が参加できるような交流であってほしいと思います。市民ふれあいフェスティバルを再開されるとしたら、参加スタッフ職員の待遇を平等にした上で、気持ちよく参加できるように！	生活サポートみらい
	○地域の交流について。コロナで少なくなっていたため、少しずつ増えていけるとよいなと感じる。	りはくる
	○喫茶店営業、キッチンカー稼働を通じて障害を持つ利用者様と地域の方々が触れ合える機会が増えれば良いと思う。	サンたなお
ボランティアについて	○事業所でもっとボランティアを受け入れる必要がある。	ふれあい工房アルゴ
その他	○なかなかできていないため、今後いろいろとやっていく計画を立てています。2023年に数回。	ゆり学園(空・海・学・星)
	○目指すところは、住み慣れた家で親亡き後も暮らしを続けていきたいと思う人が、ヘルパーや近所の人助けを受けながら、望む生活を生涯続けていけること。	ふれあい支援センター

⑧ 教育・保育について

【団体】

区分	意見	団体名
教育環境について	○学校教育従事者の発達支援に関する情報の周知。 ○不登校児への支援の強化(別室対応だけでなく、授業をリモートで受講できる工夫など)。 ○母子通園(にじの学園、のんの)の際の兄弟児の預かり支援。 ○サポートブックを利用した他機関(家庭、学校、園、事業所、相談機関)との連携支援。	親子の会カラフル
	○教育・保育に携わる先生方に、障がいに対しての理解促進がされるような取り組みが必要。	NPO法人ハートフルあおみ
	○教員の特別支援教育における知識を深めてもらいたい。 ○医療的ケアも可能な放課後等デイサービスがないので、利用できていない。	すまいる
	○市立の小中学校の特別支援学級の先生が、特別支援教育について研修できる機会の充実(特別支援学校における研修会への参加、授業参加等)。	愛知県立にしお特別支援学校
	○保育園・幼稚園の1クラスの定数を減らし、きめ細かく保育できる環境の充実、保育士の負担軽減。	にじの学園
障害への理解について	○発達障がい、統合失調症の発症年齢(10代後半)から考えても、今後は教育現場での正しい理解があればいいと思います。	医療法人成精会 刈谷病院
情報共有について	○放課後等デイサービスもたくさん増え、サービスも充実しているように感じます。 ○支援学校では進路の情報や福祉サービスの情報は入りやすいのですが、支援級の方の情報収集はしっかりできているのかが不明です。 ○親の会での情報交換が碧南はしっかりしているので、その点はありがたいです。	みどり会(安城特別支援学校保護者会)
その他	○不登校児の支援。	パレット

【事業所】

区分	意見	事業所名
教育環境について	○障がいの特性によって普通(通常)学級、支援級、支援学校を選択して多くの方は通っている。そのどれにも合わない児童もいて、居場所がないと感じているという声も聞かれる。フリースクールなど受け入れる場所(多様な)をつくっていただくと、安心して通える児童も増えるのではないかと思う。	放課後等デイサービス 北風と太陽
継続的な支援について	○義務教育終了後の軽度知的・発達の方の進路の把握とその後もつながり続けるための仕組みがあると、問題等の早期発見につながるのでは。	WHJ相談支援センター メビア
	○放課後等デイサービス開所と就労継続支援B型事業所を繋げてサービスを行うことにより、より就労に則した教育を行うことが現状のサービス展開の課題である。	サンたなお
放課後等デイサービスについて	○保育教育に関して。一定の医療的ケアを要する子どもが通園・通学及び医療的支援を受けることができる体制の整備。 ○放課後児童クラブは、発達障がい等のある方は多人数の中で過ごしにくいと、利用が困難である。 ○放課後等デイサービスなど福祉サービス以外の過ごし方、選択肢がない。	碧南ふれあい相談支援事業所
	○放課後等デイサービスがどこの事業所も定員がオーバーとなり(キャンセル待ち)、療育支援を必要としている児が支援を受けられないことがある。 ○放課後等デイサービスは小1～18歳まで。ニーズに対して供給が追いついていない。どこを放課後等デイサービスの卒業としていくか、基準があいまい。	りはくる
連携について	○親から「自分の子はA型での就労は無理」と学校から言われたと聞く。子どもと見学に来て話を聞くが、先生達が思うA型と当事業所は違うことが多い。生徒の親と話す場合は、もっと理解をしてから説明してほしい。	サンフレア
	○各機関と連携しているので大丈夫だと思いますが、教育支援センターがほしいです。適応教育と学校の同時利用ができるようになってほしいです。	ゆり学園(空・海・学・星)
	○生活介護が向いている重度障がい者が、保護者の意向で就労系に行くことが増えている。進路指導のアドバイスにも耳を傾けずに決めてしまっている。結果、数年後にミスマッチで行き場を失ったり、二次障がいになってしまうケースが増えてきている。	ふれあい工房アルゴ
	○特別支援学級と事業所はもっと連携がとれれば、支援体制をさらによいものにできると思います。 ○定期的なミーティング等ができればと思います。	社会福祉法人愛生館 (たいよう・さんさん)
	○先生と支援員等の交流が、もっと必要かなと思います。	生活サポートみらい
サービス拡充について	○共働き世帯も増えており、放課後や祝日等でお子様の行き場所がなく困っている家庭も増えています。民間で支えていくためには、ボランティア精神のみでは継続が難しい。市からの補助等があると、根拠も増える可能性はあると思います。	ぷちま～る
その他	○就労説明会(事業所説明会)の開催。	KTチャレンジ
	○一部の人の参加にならず、みんなが参加できるかどうかの現状を把握してほしい。	生活サポートみらい

⑨ 生涯学習活動について

【団体】

区分	意見	団体名
活動の場について	○様々なイベントや生涯学習の講座などに、障がいのない人に混ざって一緒に参加できることが進むような支援があるとよい。	NPO法人ハートフルあおみ
	○平日に障がい者向けのいろいろな教室があるようだが、仕事をしているため参加できない。土日に開催されると参加しやすい。 ○グループで陶芸、クラフトバンド工作をして楽しんでいる。 ○あいくるは調理室やホールがあるので、料理教室、運動、ヨガ、カラオケ等をやってほしい。	ういつしゅ
	○本校卒業後に参加できるスポーツクラブやサークルなどの拡充(本校では、高等部で部活動(バスケットボール、フライングディスク、レクリエーション)を行っている。)	愛知県立にしお特別支援学校
スポーツ活動について	○健康な生活、運動不足解消など、日頃から家から出るきっかけをつくることも大切なことです。その中で、プールや入浴券のチケットは活用しており、市内でもたくさんの運動ジムができてはいますが、障がい者がそれを利用するにはハードルが高過ぎます。できたら市内の高齢者向けのジムも、障がい者も利用できるようになることを希望します(あおいパークパーク、東部市民プラザ、水上スポーツセンター)。「節トレルーム 60」	のんちゃんの会

【事業所】

区分	意見	事業所名
活動の場について	○障がい特性に配慮や理解がある余暇活動の場が少ない。	碧南ふれあい相談支援事業所
	○それぞれの方の好きなことを楽しめる場所、気軽に参加できるイベント等があるとよいと思う。	放課後等デイサービス北風と太陽
	○地域でのイベント等は活性化しており、活動的に感じます。こういう活動を通して民間連携が向上していくとよいと思います。	ぷちま～る
	○当事者(障がい者)が主になり、すべての人が楽しめる活動推進を。	訪問介護ファンタジスタ
	○よいと思います(必要と考えます)。事業所として考えると、工賃向上の面から作業優先となりがちです。	しーずん
スポーツ活動について	○新たに新設した建物においてレクリエーションでタスポニーを始めた。今後は月 1 回以上の活動にして手軽なスポーツレクリエーションとして発展させていきたい。	サンたなお
文化・芸術活動について	○障がい児も活躍できる場面が増えていけるとよいと感じる(絵の個展など)。	りはくる
	○障がい者アートへの理解。披露する場を提供していただきたい。	碧南ふれあい作業所 ふれあい福祉園ガイア

(3) その他の意見

【団体】

区分	意見	団体名
サービスや支援の充実について	○碧南市への要望は、スピード感です。「長期にわたり検討」という文字で片づけられているように感じます。 ○発達障がい親の親の子育て支援。母子手帳交付時や訪問時等に把握し、必要な人はプチ保育、ファミサポ等の回数券など渡し、パニックやDVをする前に気軽に使って、状態を悪化させずに子育てできるようあるとよい。 ○登校児の親の支援。中学生くらいから不登校児が多くなり、親も今まで順調に成長していたため受容も遅くなり、相談、受診等どう動いていいのかわかりづらそうです。一目でわかるものがあるとよいです。	くるくる
	○盲人の方から再三のお願い。月に何度か病院へ通っている。ひとり住まいであり、タクシーを毎回利用している。タクシーに迎えに来てもらう金額も値上がりした。タクシー代の負担も大きく、タクシーチケットの枚数を増やしてほしい。	身体障害者福祉協会
障害児支援について	○障害を持つ子どもさんを養育する保護者の負担が大きく、就園にもハードルが高い人は仕事がしたくてもできない状況である。就園すれば園への負担も大きく、今の保育の状態ではしっかり子どもについてあげることが難しい(人員不足により)。健常児の保護者は働ける、選べる、障害児の保護者は働きにくい、選択肢が狭いという不公平さがなくなっていくとよい。	にじの学園
障害者雇用について	○ハローワーク碧南では、障害者雇用促進に取り組んでいます。公的機関や民間企業における障害者の法定雇用率達成を目指しています。 ○障害者の法定雇用率が段階的に引き上げられます。 ・国・地方公共団体(令和5年度 2.6%／令和6年4月～2.8%／令和8年7月～3.0%) ・教育委員会(令和5年度 2.5%／令和6年4月～2.7%／令和8年7月～2.9%) ・民間企業(令和5年度 2.3%／令和6年4月～2.5%／令和8年7月～2.7%) 引き続き、ご協力をお願いします。	刈谷公共職業安定所 碧南出張所
連携について	○”不登校・ひきこもり支援”について、少し考えていただけると嬉しいです。 ○学校や行政相談員や親の会など、関わる機関のつながりがしっかりできているといいなと思っています。	みどり会(安城特別支援学校保護者会)
会員の確保について	○会員の確保が大変。若い新規会員の確保が難しい。	手をつなぐ育成会
感想・その他	○障がいがあっても碧南で住みやすい、暮らしやすい環境ができるように、民間法人へのアプローチ、誘致をお願いしたいです。	すまいる

区分	意見	事業所名
サービスや支援の充実について	○移動支援について従業者の資格が必要となりますが、人材確保に資格の所持の有無が問題で、採用を見送ることも多くあります。移動支援のご依頼は多いのですが、従業者不足により、受け入れられない状況もあります。例えば、無資格者について、サービス提供責任者が一定時間以上教育することにより支援に従事することができる制度等があったりすると、今よりも幅広く人材確保をすることができ、同時に利用者様のご希望に沿うようなサービス提供にもつながっていくと思います。	ヘルパーステーション 未来へ
	○いろいろな障がいをお持ちの利用者(精神、身体、知的等)からの、今まさに必要としているサービスを聞く場があるとよいと思います。	訪問介護ファンタジスタ
	○へきなん議会だより(No.133、2023.5.1 大竹敦子議員) [問]市内には、重度障がい者のための施設がない。重度障がい者が暮らせる福祉施設の拡充は。 [答]重度障がい者へのニーズが高まっている。保護者の負担軽減のための移動支援事業を拡大する。 上記の問に対して答えが一部のみでわかりにくかったです。以前の答弁に対する回答については、同じように感じるものが度々ありましたが、今回の議会だよりを拝見し、改善されているように思いました。	生活サポートみらい
障害児支援について	○放課後等デイサービスの学校休日の利用が 10～15 時・16 時で、保護者がフルタイムでの就労ができない。保護者が出勤～放課後等デイサービス迎えまでと、放課後等デイサービス送り～保護者帰宅まで過ごせる場所やサービスがあるとよい。現在は移動支援で対応している子もいるが、夏や冬はしんどい。	碧南ふれあい相談支援事業所
連携について	○事業所運営には市との協力が不可欠です。今後ともよろしく願います。提出が遅くなり大変申し訳ございません。	碧南ふれあい作業所
	○事業所運営には市との協力が不可欠です。今後ともよろしく願います。提出が遅くなり大変申し訳ございません。	ふれあい福祉園ガイア
	○問9①にも記入しましたが、事業所単位の連携のみだけではなく、福祉課と高齢介護課が主となり、市内事業所の横のつながり、ステージに応じたケース移行の情報発信ができてくると、もっとよくなると思います。 ○碧南市に生まれ育った人、碧南市が大好きな人が生きていくために、暮らしが継続できない(生命を維持していくためのサービスがない)から他市に移っていくことが無くなるように、市民のためにみんな一丸となって福祉を盛り上げていきたいと思っています。そのための障がい者施策を一緒につくっていききたいです。	ふれあい支援センター
	○発達障がいのサービスのニーズが高く、利用に対してお待ちいただいている状態です。また、将来的な支援も不安に思っている保護者が多いと思います。 ○シームレスに切れ目ないサービスを一法人だけで構築するのが難しいですし、量的にもカバーできていないと思います。 ○対象となる児童は増加しているため、事業所の量だけでなく、互いの情報共有を保護者側が動くのではなく、行政から発信できればよいのではないかと思います。	社会福祉法人愛生館 (たいよう・さんさん)

区分	意見	事業所名
障害への理解について	○いつも障がい者施策に関して検討していただき、ありがとうございます。障がい者に関わる施策や機関、学校、医療等が情報を共有したり、知識を高めていけるような機会が今後も増えていくと、障がい者への理解度の向上、よりよい支援へとつながると思われました。	りはくる
情報発信について	○何を考えても難しいことが多いです(事業所、利用者ともにできることが限られます)。一つだけ、当所で答えると、事業所をオープン(誰でも立ち入りできる)にすることで、認知度を少しでも増やしたいと思います。	しーずん
アンケートについて	○この様式をデータでください。メールだけでなく、WEBのアンケート形式にすると集計が早く、50代以下の人も使いやすいです。できない世代の人のみ紙でやるとよいと思います。	ふれあい工房アルゴ
感想・その他	○遅くなってすみません。10月申請日本財団の第三の子どもの居場所事業、合格したら少しは何かが変わりそうな気がしています。山本係長さんと頑張りたいです。	ゆり学園(空・海・学・星)
	○問9については碧南市に住まいしているわけではないので、実状を知らないため記入ができずに申し訳ございません。碧南市で商いをする身としては、市役所の方をはじめ関係各所の方が理解も深く、支援者にも利用者にもあたたかい対応をしてくださって、かつ住民の方も明るい雰囲気でご過ごされていて、本当に素敵なまちだと感じています。また何か感じる事があればご連絡させていただきます。	ゆいりすホーム碧南雨池